

7

July

2016年7月

Vol.62

設立10周年特大号



坂井市社協だより エール

社会福祉法人 坂井市社会福祉協議会

設立10周年記念式典

主催/社会福祉法人 坂井市社会福祉協議会 後援/坂井市 坂井市教育委員会 社会福祉法人 福井県社会福祉協議会



7/10(日) 坂井市社協設立10周年記念式典
感謝状 被贈呈者のみなさま

坂井市社会福祉協議会は みなさまから
「社協」と親しまれつづけ10周年を迎えました 2p

表紙大募集!(カメラマンが撮影に伺います)
 次回第63号(9/21発行予定)の表紙被写体を大募集
 します!ご希望の方はホームページもしくは下記まで
 ご連絡ください。
 ※採用の方には粗品を進呈します。
 ※募集締切は8/19(金)です。

問合せ 市社協本部/総務課 (68-5070)

この広報紙は赤い羽根共同募金の助成金を活用しています。



親しまれつづけ10周年を迎えました



いあつわし

社会福祉法人 坂井市社会福祉協議会

会長 吉田 昭宣

本年4月をもちまして、坂井市社会福祉協議会は設立10周年を迎えることができました。これもひとえに坂本市長様をはじめ関係者様、そして市民のみなさまの深いご理解とお力添えのお陰であります。心から感謝申し上げます。

ところで「福祉」という言葉は、広辞苑によりますと「生命」の危機を救い人類の繁栄をつくるものと書かれています。このことは全ての人々が、より幸せな生活の実現を図るものであり、全ての人が人間らしい生きがいのある生活がおくれるということなのです。

この考え方に基づき「坂井市社協は、あなたと一緒にあなたらしい幸せづくりを目指します」を基本理念に、平成18年には市全体の融和を最優先課題として、地域の見守り活動を目的とする福祉委員の委嘱を行い、平成22年には法人組織の強化を図るため「第1次発展・強化計画」を策定、平成24年には地域の見守り助け合いなど福祉力を強化するため「第1次地域福祉活動計画」かたいけのプラン」を策定し、ボランティアの方々、福祉委員、民生委員児童委員、区長みなさまの協力を得ながら地域住民が共に支え合う地域の絆づくりを進めてまいりました。

一方、在宅福祉サービスにおいては、平成25年の本部移転を契機に高齢者や障がい者の地域での生活を支えるため、質の高いサービスの提供を第一に事業所の本部集約を行い、効率的な事業運営を進めてまいりました。9年後の2025年には、団塊の世代が後期高齢者となり、要介護者が増加すると予測されていることから、健康長寿を目指した小地域での見守りネットワークづくりや地域での助け合いが求められています。また、障がい児者や生活困窮者の自立支援、災害時のボランティアネットワークづくりなど課題は山積しており、これらの課題に坂井市社協は全力を挙げて取り組む所存です。

結びになりますが、これまでの10年間を糧に、より一層の坂井市の福祉向上と10年後の笑顔あふれる明るい未来を目指し、あらゆる事業活動に取り組んでまいります。

今後とも更なるご支援、ご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

『スマイル & チャレンジ ～ これまでの感謝と10年後の地域福祉に向けて ～』

7月10日（日）いねす坂井地域交流センター
で記念式典を開催しました。

式典には、地域住民をはじめ、行政、社会福祉関係者約100名のみなさまにご臨席いただきました。多くの方々からご祝辞が寄せられるなか、吉田会長から今日までご支援ご協力いただいたことへの感謝を伝えました。また、記念講演や住民活動発表では、これまでの地域福祉活動をふり振り返りながら10年後の笑顔あふれる明るい未来を考える契機となりました。

(4ページにつづく)



特集

坂井市社会福祉協議会は

みなさまから「社協」と



坂井市

市長 坂本 憲男

お祝いの言葉

社会福祉法人坂井市社会福祉協議会が設立10周年を迎えられましたことを、心よりお祝い申し上げます。

坂井市社会福祉協議会は、県内で2番目の規模の社会福祉協議会として、坂井市の誕生と併せて平成18年4月1日に設立され、以来10年、地域福祉の充実に向け、積極的にご活動が続けられ、確固たる基盤を築かれておられますこと、誠に同慶に堪えないところであります。

ひとくちに10年と申しますが、特にこの10年間は本当に変化のめまぐるしい時代でありましたので、その歴史には、さまざまながりが刻み込まれていることと思います。

その一つ一つが吉田会長をはじめとする歴代の役員の方や関係団体、地域で活動されている皆様方のご労苦の賜物であると思います。また、設立以来、着実な活動を展開され、立派な足跡（そくせき）を残されてこられましたことに、深く敬意を表するものであります。

近年、少子高齢化が急速に進み、福祉を取り巻く環境の変化と共に、福祉に対するニーズも多様化する中で、設立10周年という輝かしい伝統と実績の上に立って、将来への更なる飛躍を期されますことは、誠に意義深いものがあり、坂井市社会福祉協議会の今後の益々のご隆盛を心からご祈念申し上げます。

坂井市も誕生いたしましたので、今年3月に10周年を迎えました。現在「笑顔」を市政のキーワードとして様々な施策に取り組んでいるところですが、本市といたしましては、市民や団体、企業の皆様方との協働により、「安心でいきいきと暮らせるまちづくり」を市政運営の柱として、福祉施策の推進に全力を尽くしてまいりたい所存でございますので、今後とも地域の福祉力の向上のため、関係者の皆様方のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びになりますが、坂井市社会福祉協議会の更なるご発展と吉田会長をはじめとする役員、関係者の皆様方のご健勝とご活躍をご祈念申し上げます。お祝いの言葉といたします。

坂井市社会福祉協議会長 感謝状 被贈呈者(順不同)

増尾幹彦様	ボランティア	中嶋圭子様	石田正美様	斉藤正道様	藤田圭広様	地域福祉活動 福祉委員	西畑光廣様	尾崎美智子様	野田奥右衛門様	本多泰秀様	佐々本和恵様	岡崎泰和様	坂井市社会福祉協議会 評議員	下田五十二様	田畑克佳様	大霜範子様	内田正義様	近藤昭宣様	吉田昭宣様	坂井市社会福祉協議会 理事	青木永雄様	豊永勝様	坂井市社会福祉協議会 歴代会長
-------	--------	-------	-------	-------	-------	-------------	-------	--------	---------	-------	--------	-------	----------------	--------	-------	-------	-------	-------	-------	---------------	-------	------	-----------------



市内の地域福祉と社会福祉協議会のご発展にご尽力いただき、まことにありがとうございました。

設立10周年
記念式典

記念講演

『地域福祉の10年のあゆみと 未来への展望』

原田先生の記念講演では、これまでの地域福祉の沿革をふり返りながら約10年後に迫る2025年問題について考える契機をいただきました。

「日本は今『人口減社会』で10年後は今の団塊の世代が後期高齢者となり総人口の3割を超え、さらにそのうちの3割が『寝たきり』や『認知症』になるといわれている。一方、国では、地域包括ケアシステムの構築を進めており一層の医療の充実とともに、より身近なところでの地域住民による介護予防を重視している。厳密に言えば9年後の2025年までに坂井市においても、残りの7割となる地域みなさんの踏ん張りが必要。ぜひ実現していただきたい」と先生から次の10年に向けた提言と力強いメッセージをいただきました。



日本福祉大学 社会福祉学部
教授・大学執行役員
はら だ まさ き
原 田 正 樹 氏
(社会福祉学博士・社会福祉士)



三国町
民生委員児童委員協議会
会長 **阿古江唯説 氏**

市民児協連合会長も務める傍ら新保福祉の会や給食ボランティア等の地域活動も実践

地域ニーズに立脚した活動を
合併当初、旧4町の生い立ちや取り組みの違いを感じながら民生委員や地域の活動に携わってきた。地域社会への貢献が叫ばれるなか、今後も一方的な支援ではなく、地域ニーズを十分に把握したうえで活動に取り組んでいきたい。

住民活動発表 『私たちが取り組んだ笑顔あふれる 住みよいまちづくり』



特定非営利活動法人
やすらぎの家
代表 **山崎富美恵 氏**

H13より丸岡町鳴鹿地区
「やすらぎの家」で地域
高齢者の介護予防に携わる

つながることが大切
もともと地域住民で立ちあがった施設。これからも住民主体の介護予防に取り組んでいきたい。また、医療機関との連携をはじめ、社協、まちづくり協議会といった多様な団体ともつながっていきたい。

坂井市社会福祉協議会 10年のあゆみ

- | | | |
|---|---|---|
| 2006（平成18）年度
・障害者自立支援制度施行
・介護保険制度改正 | 4月 ■ 坂井市社会福祉協議会設立 初代会長に豊永雄勝氏就任
■ 福祉委員制度を施行し市全域に637人設置
6月 ■ 広報誌「社協だより」創刊
7月 ■ ボランティア・市民活動センター開設
8月 ■ 災害時における社協ネットワークによる相互支援協定締結（県内市町社協間）
10月 ■ いきいきサロンセンターあい愛竣工
3月 ■ 基本理念制定
「坂井市社協は、あなたと一緒にあなたらしい幸せづくりを目指します」
■ 第1回坂井市社会福祉大会開催 |  |
| 2007（平成19）年度 | 7月 ■ 生活たすけあい事業開始
11月 ■ ホームページ開設 | |
| 2008（平成20）年度 | 4月 ■ 基幹型社協として日常生活自立支援事業「しあわせねっと」開始
6月 ■ 第2期役員改選 第2代会長に青木甫氏就任 | |
| 2009（平成21）年度
・介護保険制度改正 | 5月 ■ 社会福祉教育ゆめプラン事業開始
2月 ■ 生活・介護支援サポーター事業開始（人材養成） |  |
| 2010（平成22）年度
・東日本大震災 | 4月 ■ 第1次坂井市社協発展・強化計画策定（2ヶ年）
■ 地域活動支援センター事業開始（三国希望園）
■ 日中一時支援事業開始（れんげキッズ）
10月 ■ 県社協「支え合い体制づくり人材育成事業」指定（生活支援員養成講座開催） | |
| 2011（平成23）年度
・社会福祉法人会計基準改正 | 5月 ■ 災害時社協ネットワーク協定に基づき岩手県陸前高田市社協へ職員派遣（10名）また県社協を通じて義援金および支援金を送金
7月 ■ 障がい者（児）施設入浴サービス事業開始（春江いちい荘） | |
| 2012（平成24）年度
・介護保険制度改正 | 4月 ■ 第1次坂井市地域福祉活動計画「かたいけのプラン」策定（5ヶ年）
■ 支部社協委員会設立（委員任期2年） | |
| 2013（平成25）年度
・台風18号豪雨災害 | 4月 ■ 就労継続支援B型事業開始（三国希望園）
7月 ■ 法人本部を丸岡霞の郷から旧坂井図書館へ移転（ケアプランセンター、ホームヘルプステーション訪問入浴ステーションも本部統合）
9月 ■ 災害時社協ネットワーク相互支援協定に基づき職員派遣 小浜市社協（9名） 若狭町社協（3名） |  |
| 2014（平成26）年度
・障害者総合支援制度施行 | 4月 ■ 第5期役員改選 第3代会長に吉田昭宣氏就任
■ 障がい児・者特定相談支援事業所開設
■ 地域福祉推進基礎組織づくり着手
10月 ■ 地域包括支援サブセンター開設 |  |
| 2015（平成27）年度
・介護保険制度改正
・生活困窮者自立支援制度施行 | 10月 ■ 県社協「ご近所拠点づくり推進モデル事業」指定（丸岡町高椋西部地区にいつく茶屋開設）
11月 ■ 第10回坂井市社会福祉大会開催（ふれあいフェスタ同日開催）
2月 ■ 市災害ボランティアセンター連絡会発足（会長に吉田会長就任） |  |



みんなが主役のまちづくりや
人づくりのために

5,073万1,246円

- ▶ふくしのまちづくり事業 (4,687万1,785円)
- ▶ボランティア活動推進事業 (385万9,461円)

高齢の方や障がいのある方の生きがいと
健康づくりのために

5,608万994円

- ▶介護予防・生活支援事業 (4,731万3,964円)
- ▶生活支援サービス事業 (876万7,030円)



5億5,260万9,079円



自分の町をよくするために

1,981万547円

- ▶共同募金助成金事業 (1,789万7,879円)
- ▶歳末たすけあい助成金事業 (191万2,668円)

障がい者の地域生活を
応援するために

2,687万8,405円

- ▶就労継続支援B型事業



社協が取り組んだ

ふだんの

くらしの

しあわせづくり

平成27年度 坂井市社会福祉協議会
事業・決算報告

坂井市社協は、社会福祉法人としての基盤強化を図るとともに、「第1次坂井市地域福祉活動計画（かたいけのプラン）」に基づき、関係機関と連携を図り地域福祉・在宅福祉の各種事業に取り組みました。

重点事業

- 1 かたいけのプランに基づき、見守りネットワーク活動など地域の仕組みづくりの土壌となる「地域福祉推進基礎組織」の推進を図りました。
- 2 地域包括支援サブセンター・特定相談支援事業所の運営強化に取り組みました。
- 3 職員人材育成の総合的な推進を図りました。
- 4 第1次坂井市社協発展・強化計画の評価を行い、第2次計画を策定しました。

高齢の方が住み慣れた地域で
暮らし続けるために

2億1,276万5,169円

▶介護保険事業



市民性豊かな福祉コミュニティ
づくりのために

4,871万1,449円

- ▶坂井社協本部運営事業 (363万9,528円)
- ▶三国社会福祉センター管理運営事業 (1,431万7,389円)
- ▶三国希望園管理運営事業 (837万7,580円)
- ▶いきいきサロンセンターあい愛運営事業 (256万9,876円)
- ▶春江総合福祉センター運営事業 (1,040万6,275円)
- ▶坂井老人福祉センター運営事業 (940万801円)

社協法人の運営基盤・組織体制を
強化するために

7,265万4,013円

▶法人運営事業



その他、地域福祉に必要な事業を
推進するために

253万9,148円 ▶基金運営事業



困りごとや悩みごとがある方の
生活を応援するために

3,291万5,334円

- ▶総合相談事業 (2,517万8,030円)
- ▶日常生活自立支援事業 (494万5,000円)
- ▶生活福祉資金貸付事業 (279万2,304円)

5億5,260万9,079円



PICKUP!!

「重点事業」用語説明

第1次坂井市地域福祉活動計画 (かたいけのプラン)

誰もがいつまでも安心して暮らし続けることができるまちであるために、坂井市が策定した「坂井市地域福祉計画」と連携しながら、どのような取り組みが必要かを住民が考え、住民主体で取り組んでいくための行動計画です。計画期間は28年度までの5ヶ年で平成29年度には第2次計画を予定しています。

地域福祉推進基礎組織

小地域(コミュニティセンター以下の圏域)を単位に住民同士の声かけや支え合いなど福祉活動の基礎となる組織で「ふくしまップづくり」や「生きがいサロン」など地域に暮らす要支援者の見守り活動にも取り組んでいます。

第2次坂井市社協発展・強化計画

坂井市の地域福祉を推進する中核的な団体として、社協法人の事業運営や経営のビジョン、目標を明らかにしたもので、その実現に向けた組織、事業、財務等に関する具体的な取り組みを明示した28年度から5ヶ年の中期計画です。



音訳ボランティア養成講座 ～全10回～

視覚に障がいがある方のために活字で書かれている広報紙や雑誌、新聞などの内容を正確に読み上げ音声（テープやCD）にして伝えるボランティアです。あなたの声が視覚障がい者の「目の代わり」になります。

	とき	講義内容	
①	8/18(木)	基礎練習 ○呼吸 ○発音 ○発声 ○活舌	開講式・オリエンテーション
②	8/25(木)		読みの基本
③	9/1(木)		耳をきたえる(フレーズ)
④	9/8(木)		アクセント、鼻濁音、無声化
⑤	9/15(木)		音訳表現技術Ⅰ 童話
⑥	9/23(金)		処理方法①(符号・他)
⑦	9/29(木)		処理方法②(ルビ、注、他)
⑧	10/6(木)		音訳表現技術Ⅱ 天気予報
⑨	10/13(木)		処理方法③(同音異義語、他)
⑩	10/20(木)		処理方法④(写真、図表、他)・閉講式

【ところ】 市社協本部 (時間は13:30～15:30)

【対象】 音訳ボランティアに興味があり、本講座の全課程を受講後、音訳ボランティアとして活動できる方

【受講料】 無料 (テキスト代800円が別途必要)

【講師】 音訳講師 小寺 外志美 先生
(元北陸放送アナウンサー)

【定員】 10名

【申込み】 8/12 (金) までに下記へ



音訳ボランティア講座のごあんない

キラリ☆と光る ボランティアアライフ

生活・介護支援サポーター養成講座 ～全5回～

高齢者が住み慣れた地域でいきいきとした生活を送れるよう、介護保険サービスでは提供できない話し相手や安否確認などの在宅サービスをお手伝いいただくボランティアです。(訪問1回あたり1ポイント=400円が支給されます)



	とき	講義内容
①	9/23(金)	坂井市の高齢者を取り巻く現状
②	9/30(金)	高齢者の心と体、認知症
③	10/7(金)	手話の聞き方と訪問時のマナー
④	10/11(火) 10/20(木)	実習 ※期間中のいずれか1日を選択
⑤	10/21(金)	修了式

【ところ】 市社協本部 (時間は9:30～12:30)

【対象】 市内在住の80歳未満の方で本講座の全課程を受講後、坂井市にサポーターとして登録できる方

【受講料】 無料

【定員】 20名

【申込み】 9/9 (金) までに下記へ



転ばぬ先のツリアライフ

介護予防事業のごあんない

明日のための“貯筋”始めませんか？

マンデイクラブ

健康運動指導士（運動のプロ）が、貴方の個別プログラムを作成して各運動指導、マシントレーニングなどで健康をサポートします！

【利用日】毎週月曜日10：00～12：00

- ・健康運動指導士による指導日
- ・自主トレーニング日

【利用対象】市内在住で概ね60歳以上の方
（あい愛サロンとの併用不可）

【利用料金】健康運動指導士による指導日 1回700円
自主トレーニング日 1回300円

【問合せ】いきいきサロンセンターあい愛
（82-2020）担当/井上



ご存知ですか？

地域介護予防活動支援（通所）事業

要介護状態になることの予防を目的とした通所型のサロンで、健康体操、創作活動、ゲーム、外出行事などを行っています。利用には坂井市への申請が必要です。



サロン名	ところ	利用日	問合せ
【三 国】 あい愛サロン	いきいきサロン センターあい愛	火・水・金	いきいきサロンセンターあい愛(82-2020) 三国地区包括支援センター(82-1616)
【丸 岡】 陽だまりサロン	長畝コミュニティ センター	月・火	市社協まるおか支部(68-5060) 丸岡地区包括支援センター(68-1130)
	竹田コミュニティ センター	木	
	ふれ愛の家	金	
【春 江】 友遊クラブ	春江総合福祉 センターいちい荘	火・木	市社協はるえ支部(51-4545) 春江地区包括支援センター(43-0227)
【坂 井】 おいでの会	坂井老人 福祉センター	火・水	市社協さかい支部(67-0699) 坂井地区包括支援センター(67-5000)

【利用日】上記のとおり 時間10：00～15：00

（ただし、お住まいの地域により利用できるサロンと曜日が定められています）

【利用対象】市内在住の概ね65歳以上で介護保険の要介護認定を受けていない方

【利用料金】食事代等が必要



平成28年度 第1回坂井市共同募金委員会を開催

5月27日（金）坂井市社協本部で、平成28年度第1回共同募金委員会（運営委員会）を開催しました。
 主な内容として次のことについて協議しました。

①平成27年度事業・決算報告

②福祉団体等から公募を行った『地域を良くするための福祉活動』への助成の審査

③そのために必要な募金額を計画する推進計画等

なお、協議の結果は、福井県共同募金会にてあらためて審議されます。



共同募金委員会ってなんだろう？

「地域で集めて地域に生かす募金運動」を目指し、募金をする人や募金を活用する人が一緒に運動方法や活用方法を考える組織です。全国的に設置が進めれており、坂井市においても平成21年4月から『坂井市共同募金委員会』がスタートし、委員会の中心となる運営委員は、住民の代表30名で構成されています。

運営委員を新たに選任

- 【学 校】 前 義 隆
- 【市社協ボランティア】 伊 藤 進
- 【市社協】 牧 田 重 雄
- 【行 政】 高 倉 勇 治
- 【 】は選出区分・敬称略

災害義援金窓口の受付期間を延長しました

市社協本部・各支部で受付を行っています。引きつづき、ご支援ご協力をよろしく申し上げます。

- 平成28年熊本地震義援金 平成29年3月31日（金）まで
- 平成28年4月地震大分県被災者義援金 平成28年9月16日（金）まで

たくさんの気持ちが寄せられています（敬称略）

【熊本地震義援金】

5/16	少林寺拳法春江南道院	39,463円
5/19	はんなり鮎（見神）	10,000円
5/26	クラレファスニングふれあい会	30,004円
6/ 8	春江町 中筋三ツ屋区	11,500円
6/20	昭和大和区子ども会	3,488円
6/24	東十郷小学校 昭和22年度卒業生一同	17,500円
7/ 5	江留上まちづくり協議会	14,001円



5/16 春江中学校 生徒会 40,761円

【大分県被災者義援金】

6/24	東十郷小学校 昭和22年度卒業生一同	17,500円
------	--------------------	---------

災害義援金ってなんだろう？

災害被災者を支援するためのもので、災害発生時に『災害救助法』の適用状況等に応じて全国の各市区町村共同募金委員会に窓口が設置されます。お寄せいただいた義援金は、被災都道府県共同募金会内に設置される義援金配分委員会を通じて被災者の方々にお見舞金として届けられます。また、義援金は税制上の優遇措置（所得税・法人税・住民税）も受けられます。

ありがとうございました。

賛助会員

酒井英夫／坂井佐喜男／坂井文子／岩口正三
内田正義／中筋大手区友遊クラブ
社会福祉法人 白女林デイサービスセンターいこい・ほほえみ

寄付

氏名	住所	金額
新和会	三国町	9,400円
佐藤習力	〃	30,000円
匿名(5件)		14,903円

賛助会費・寄付について、税法上の優遇措置があります。お問合せは市社協本部／総務課(68-5070)までご連絡ください。

つながる伝言板

みんなで歌った福祉の心

6月19日(日)三国社会福祉センターで『第30回 あい愛まつり』(主催/あい愛まつり実行委員会)が開催されました。今年は“音楽でつなごう福祉の輪”がテーマ。町内私立保育園の子どもたちや観客、関係者全員での「みんなで大合唱」は歌や音楽を通じて当日の来場者約2,300人の心をつなげてくれました。



みんなで熊本を救いたい

7月6日(水)ピアゴ丸岡店でNPO法人障害者自立援助センターしいのみが、熊本地震義援金の街頭募金を行いました。厳しい日差しのなか、利用者や職員約30人が買い物客へ募金を呼び掛けました。ご協力ありがとうございました。



たくさんの笑顔があふれました

7月16日(土)いきいきプラザ霞の郷で『ボランティアのつどい2016～かたいけの!まるおが～』(主催/ボランティアのつどい2016実行委員会)が開催されました。

演芸ボランティア『笑顔の宅配便フルーツポンチ』の寸劇は約450人の来場者を大いに楽しませてくれました。



今年も開催!

音のタスキ愛チャリティー駅伝コンサート

毎年、大盛況の『音のタスキ愛チャリティー駅伝コンサート』が今年も開催されます。2日間にわたりプロ・アマ問わず、あらゆるジャンルの音楽家の演奏コンサートです。ご近所お誘いあわせの上、ぜひご来場ください。なお、入場料の一部は熊本地震災害義援金とさせていただきます。

とき 8月27日(土)・28日(日)
ところ 森のめぐみ(坂井町大味32-1-1)
入場料 1000円
問合せ 森のめぐみ/田嶋(72-3185)

祭りも10年! 社協も10年!

今年も『さかい夏祭り スマイル&ハッピーふれあいふくしコーナー』を予定しています。クイズラリー、ボランティア体験、福祉車両展示など内容も充実。ご家族でぜひお越しください。※詳しくは当会ホームページ

とき 8月7日(日) 13:00予定
ところ 市社協本部



今年の社協チアダンスは10thスペシャルバージョンを予定

第11回 坂井市社会福祉大会

とき 11/3(祝) 13:30予定
ところ ハートピア春江
内容 式典、記念講演、障がい施設展示ほか
その他 入場無料
詳しくは次号でお知らせします。



おじいちゃん おばあちゃんも食べてニッコリ 霞の郷デイサービスセンターの ～超簡単! レシピ～

料理名 鶏肉のマーマレード焼き エネルギー (1人分) 113Kcal
材 料(1人分) 鶏もも肉70g 料理酒3cc 濃い口しょうゆ3cc
マーマレード1g 油2g グリーンリーフ10g トマト20g



【作り方】

①調味料に30分以上漬けておく。②フライパンで皮目から焼きます。マーマレードが焦げやすいので注意してください。皮目が焼けたら裏返し7～8分目火が通ったら火を止めます。③②の肉にアルミホイルをかぶせ余熱で火を通します。④10分程置いて盛り付けしましょう。

【ポイント】

鶏肉は火を通し過ぎるとパサパサになってしまいます。余熱を利用することにより、ふっくらジューシーに仕上がります。マーマレードに漬けておくことにより程よい酸味と甘みでさっぱり召し上がれます。また、マーマレードはお肉を柔らかくする働きがあります。

◇鶏もも肉◇

鶏もも肉は豚肉や牛肉よりも脂肪分が少なくしっかりタンパク質を摂取できます。また、糖質・脂質・タンパク質を体内でエネルギーに代える役割をするビタミンB2、血を作るのに有効な成分のビタミンB12を含むため、元気が無い時やパワーが欲しい夏場に効果があります。

相談のび案内

	三国社会福祉センター 82-1170	いきいきプラザ霞の郷 68-5060	春江総合福祉センター (いちい荘) 51-4545	坂井市社協本部 68-5070
8月	無料法律相談 1日(月) 清水 孝行 弁護士	無料法律相談 9日(火) 佐藤 辰弥 弁護士	無料法律相談 24日(水) 黛 千恵子 弁護士	無料法律相談 25日(木) 岩本 雄太 弁護士
	心配ごと相談 22日(月)	心配ごと相談 30日(火)	心配ごと相談 3日(水)	心配ごと相談 18日(木)
	結婚相談 8日(月)・22日(月)	結婚相談 1日(月)・15日(月)	結婚相談 4日(木)・18日(木)	結婚相談 4日(木)・18日(木) <small>【会場】 坂井老人福祉センター</small>

※8月の結婚相談は上記の他、6日(土)・20日(土)10:00～15:00も江留上コミュニティセンターで実施されます。

	三国社会福祉センター 82-1170	いきいきプラザ霞の郷 68-5060	春江総合福祉センター (いちい荘) 51-4545	坂井市社協本部 68-5070
9月	無料法律相談 5日(月) 高橋 功 弁護士	無料法律相談 13日(火) 安江 勤 弁護士	無料法律相談 21日(水) 島田 広 弁護士	無料法律相談 29日(木) 光照 良真 弁護士
	心配ごと相談 26日(月)	心配ごと相談 27日(火)	心配ごと相談 7日(水)	心配ごと相談 8日(木)
	結婚相談 12日(月)・26日(月)	結婚相談 5日(月)	結婚相談 1日(木)・15日(木)	結婚相談 1日(木)・15日(木) <small>【会場】 坂井老人福祉センター</small>

※9月の結婚相談は上記の他、3日(土)・17日(土)10:00～15:00も江留上コミュニティセンターで実施されます。

無料法律相談	心配ごと相談	結婚相談
各会場、開催日1週間前から電話予約にて受付します。※先着9名まで	相談員は、民生委員・児童委員の方です。	相談員は、婦人福祉協議会の方です。

各相談は、開催日の13:00～16:00です。無料法律相談は混雑が予想されますので、一人20分の相談時間とさせていただきます。相談予約、お問い合わせは、下記まで。

※坂井町での無料法律相談・心配ごと相談の会場は市社協本部、結婚相談は坂井老人福祉センターです。

社会福祉法人 坂井市社会福祉協議会

- 本部
〒919-0521 坂井市坂井町下新庄18-3-1
総務課 TEL 0776-68-5070 FAX 0776-67-2807
E-mail: sakaicityshakyo@lake.ocn.ne.jp
- 地域福祉課
ケアプランセンター TEL 67-0699 FAX 67-2807
ホームヘルパーステーション TEL 67-5180 FAX 67-2807
訪問入浴ステーション TEL 67-5152 FAX 67-2807
TEL 67-5181 FAX 67-2807
- みくに支部
〒913-0042 坂井市三国町中央1-6-3 (三国社会福祉センター内)
TEL 82-1170 FAX 82-1593
TEL 080-1968-6580
- れんげキッズ
- まるおか支部
〒910-0224 坂井市丸岡町八ヶ郷21-7-1 (いきいきプラザ霞の郷内)
TEL 68-5060 FAX 67-2950
- 霞の郷デイサービスセンター
TEL 68-5065 FAX 67-2950

- はるえ支部
〒919-0412 坂井市春江町江留中10-15-1 (春江総合福祉センター内)
TEL 51-4545 FAX 51-6269
- さかい支部
〒919-0521 坂井市坂井町下新庄18-3-1 (本部内)
TEL 67-0699 FAX 67-2807
- 三国希望園
〒913-0045 坂井市三国町南本町1-2-52
TEL 82-2365 FAX 82-2365
- いきいきサロンセンターあい愛
〒913-0021 坂井市三国町楽門53-16-1
TEL 82-2020 FAX 82-2024
- 坂井老人福祉センター
〒919-0521 坂井市坂井町下新庄19-1
TEL 67-0640

